

# 直島に新たな観光資源を ～光のアートで直島の夜を照らす～

代表者 細 川 寧 々 （経済学部経済学科3年）

## 1. 目的と概要

私たち直島地域活性化プロジェクトの活動拠点である直島は、アートの島として広く知られており、国内外問わず多くの観光客でにぎわっている。しかし、美術館などの観光施設が早い時間に閉館してしまうため、夕方から夜にかけて、島内で楽しめる観光スポットが限られている。この現状に対して、新たな観光資源を提供し、直島の夜間の観光を盛り上げることが本プロジェクトの目的である。

具体的には、竹あかりとペットボトルランタンを作成し、ライトアップ展示を実施することで、夜間の観光資源の創出を目指した。竹あかりならびにペットボトルランタンの制作では、地域住民参加型のワークショップを開催し、直島島民と香川大学の学生との交流の促進と、島民と観光客の環境意識の向上を図った。また、竹あかりで使用した直島の竹は、直島町役場や地元工務店と連携して伐採したものであり、島内の放置竹林問題の解決にも寄与することができた。

## 2. 実施期間（実施日）

令和6年7月24日から令和6年12月15日まで

## 3. 成果の内容及びその分析・評価等

竹あかりならびにペットボトルランタンの展示を実施するにあたって、使用するペットボトルの回収を行った。また、竹あかりとペットボトルランタンを作成するワークショップを実施し、参加者を募るためのチラシも作成した。

### (1) ペットボトルの回収・チラシの作成

ペットボトルランタンに使用するペットボトルを収集するために、回収ボックスを直島地域活性化プロジェクトで経営している「和 cafe ぐう」に設置した。回収ボックスは、POPを日本語だけでなく英語など多言語を用いることで、外国人観光客の多い直島でより多くのペットボトルを回収できるように工夫した。回収ボックスの設置により、島民と観光客の環境意識の向上も目指した。

また、ワークショップ実施のチラシを作成し、島民に配布・周知した。チラシの作

成では、より多くの人に来てもらうために、わかりやすく、興味を引く内容となるよう意識した。



## (2) 竹伐採・ワークショップの実施

竹あかりに使用する竹は島内の竹林から調達した。竹伐採は直島町役場や地元工務店のご協力のもと実施した。このなかで、外部の関係者と連絡を取りながら進めたため、「報・連・相」の重要性を実感した。

島民参加型のワークショップでは、ペットボトルランタンと竹あかりを作成した。竹あかりの作成では電動ドリルを使用して竹に穴をあける工程があるため、事前に香川大学たどつまち labo に使い方をレクチャーしてもらうことで、安全に行えるように徹底した。また、直島の小学生や高齢者に参加してもらうことによって、地域住民とコミュニケーションを取る機会を創出できた。



## (3) 竹あかり・ペットボトルランタンの展示

竹あかりならびにペットボトルランタンのライトアップを2回に分けて開催した。

1回目の展示は11月30日に直島町の本村地区で開催した。ワークショップで作成した竹あかりは、直島町役場や周辺の住民に許可をいただき、民家に沿って設置した。ペットボトルランタンについては、作成してもらったものに加え、プロジェクトメンバーで回収したペットボトルを用いてタワーを作成し、私たちが経営する「和 cafe ぐう」に設置した。展示は17時30分から20時まで行い、ワークショップに参加していただいた島民や、観光客の方など多くの方々に見ていただくことができた。1回目の展示では、来場者アンケートを行ったが、十分に周知ができておらず正確な結果を得ることができなかった。

2 回目の展示は 12 月 15 日に直島宮浦港の海の駅「なおしま」で開催した。作成した竹あかりを宮浦港のシンボルである「赤かぼちゃ」の周辺と宮浦港のイルミネーション周辺に置かせていただき、17 時から 19 時まで行った。2 回目の展示はフェリー乗り場がある宮浦港で実施したことで、1 回目の展示に比べ、より多くの観光客の方に楽しんでいただくことができた。



#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

この事業は、夜間の観光が課題となっている直島で、新たな観光資源を提供することを目的として実施した。2 回に分けて実施したライトアップ展示では、観光客や島民など、多くの方々に見ていただくことができ、わずかではあるが、直島の夜の観光の活性化に貢献することができた。

また、ライトアップ展示で使用したペットボトルランタンや竹あかりは、島内で回収したペットボトルや島内で伐採した竹を使用したため、環境意識の向上や放置竹林問題について知る機会となった。

竹あかりならびにペットボトルランタンの作成を目的としたワークショップには、島内の小学生から高齢者までが参加し、世代を超えた交流の場を創出することができた。

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今回の事業は、香川大学たどつまち labo や直島町役場をはじめとする多くの方々の協力のもと実施することができた。外部と連絡を取りながらイベントの準備を進めていくなかで、情報共有の重要性を再確認する機会となった。

ライトアップ展示には、島内で伐採した竹と島内で回収したペットボトルを用いて作成した竹あかりとペットボトルランタンを使用した。これにより、学生自身も環境問題や放置竹林問題について考えることができた。

地域住民参加型のワークショップを実施することで、島内の小学生から高齢者までの幅広い世代と交流できる貴重な機会となった。ワークショップでは、電動ドリルを用いる工程もあったため、どうすれば安全に実施できるかをメンバー間で話し合い、万が一の事態にも対応できるよう準備した。

## 6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今回の事業では、主に2つの反省点がある。

1つ目は、関係者との連携不足である。今回の事業では多くの関係者の協力のもと実施できたが、連絡が遅れたことが問題となった。その原因としては、メンバー間での意思決定が遅かったことがあげられる。今後は、メンバー間での情報共有を徹底し、1回の話し合いを密に行うことで迅速に意見をまとめ、円滑に連携が取れるようにしていきたい。

2つ目は、展示会を終えての反省である。多くの方々に展示を見ていただくことはできたが、そのほとんどが島民であった。これは事前の宣伝が十分にできていなかったためだと考えられる。従来のようにSNSを活用した宣伝方法に加え、効果的な宣伝方法についても模索していきたい。また、展示会ではアンケートを実施したが、回答数が少なく正確な結果を得ることができなかった。今後アンケートを実施する際には、回答への積極的な呼びかけを行うとともに、紙媒体に加え、スマートフォンで回答できるアンケートフォームも活用していきたい。

私たちの活動拠点である直島で竹あかりを用いたライトアップ展示を開催するのは初めてであったが、多くの方々のご協力により実施することができた。2025年は瀬戸内国際芸術祭も開催されるため、直島への注目度もより高まることが予想される。今後も直島の夜間の観光に焦点を当て、新たな視点での直島の魅力を伝えていきたい。

## 7. 実施メンバー

代表者 細川 寧々（経済学部3年）

構成員 中野 結生（経済学部4年）  
青木 茉莉子（経済学部4年）  
有光 華子（経済学部4年）  
井上 直緒（法学部4年）  
岡田 侍大（経済学部4年）  
假谷 有実紗（経済学部4年）  
岸 愛加梨（経済学部4年）  
楠 琉々華（経済学部4年）  
斎藤 未来（経済学部4年）  
田所 真吾（経済学部4年）  
中塚 志歩（経済学部4年）  
西馬 あい（経済学部4年）  
廣峰 渚（経済学部4年）  
水嶋 琴子（経済学部4年）  
山田 莉華（経済学部4年）  
渡部 仁美（法学部4年）  
安倍 京佳（農学部3年）  
石田 泰之（経済学部3年）

大平 雪乃（経済学部2年）  
小林 葉（農学部2年）  
宗田 祥熙（法学部2年）  
泰田 真都（経済学部2年）  
中野 綾太（経済学部2年）  
難波 駿太（経済学部2年）  
野田 直希（経済学部2年）  
則包 那琉（経済学部2年）  
藤井 愛香里（経済学部2年）  
藤本 榛（経済学部2年）  
岡田 優里（経済学部2年）  
横田 大和（経済学部1年）  
三代 ひかり（経済学部1年）  
谷本 布佑重（経済学部1年）  
門脇 万莉（経済学部1年）  
森川 開斗（経済学部1年）  
中本 みなも（経済学部1年）  
丹原 陸志（経済学部1年）

|                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 勘藤 有加里（経済学部 3 年） | 二川 茉央（経済学部 1 年）     |
| 近藤 彩音（法学部 3 年）   | LEE SIUK（経済学部 1 年）  |
| 祐延 奈々美（経済学部 3 年） | 大原 千咲貴（経済学部 1 年）    |
| 玉井 果歩（経済学部 3 年）  | 中元 咲希（経済学部 1 年）     |
| 鳥越 翔太（経済学部 3 年）  | 林 真央（経済学部 1 年）      |
| 土肥 怜佳（農学部 3 年）   | 桜井 萌花（経済学部 1 年）     |
| 本田 有理七（経済学部 3 年） | 荒木 絵理香（経済学部 1 年）    |
| 増田 悠（経済学部 3 年）   | 坂本 直希（創造工学部 1 年）    |
| 松本 夏実（教育学部 3 年）  | 三原 流聖（経済学部 1 年）     |
| 矢野 穂稀（経済学部 3 年）  | 松若 来海（経済学部 1 年）     |
| 山本 朋佳（農学部 3 年）   | 岡田 琉里（経済学部 1 年）     |
|                  | 小坂 伊織（創造学科 大学院 1 年） |

## 8. 執行経費内訳書

| 配 分 予 算 額                     |    | 1 9 7 , 3 9 8 円 |              |     |
|-------------------------------|----|-----------------|--------------|-----|
| 執行経費（品目等）                     | 数量 | 単価(円)           | 金額(円)        | 備 考 |
| 透明エコダスター山崎産業45L               | 1  |                 | 7, 2 8 2     |     |
| 再生トップコンテナ再生オレンジ               | 6  | 5 8 1           | 3, 4 8 6     |     |
| ラミネートフィルム                     | 1  |                 | 2, 4 7 3     |     |
| 折り紙15cm100枚入り20色両面おりがみ ほか     | 1  |                 | 3, 5 3 7     |     |
| LIVINGOキャップ付ハサミ               | 2  | 1, 9 4 4        | 3, 8 8 8     |     |
| 単 4 形アルカリ乾電池20本パック            | 4  | 3, 3 4 0        | 1 3, 3 6 2   |     |
| LEDイルミネーションライトseekpow10M-RGBW | 2  | 2, 6 8 0        | 5, 3 6 0     |     |
| クリスタルハーバリウム（シルバー4個セット）        | 5  | 3, 5 3 0        | 1 7, 6 5 0   |     |
| LEDキャンドルライト（100個セット）          | 2  | 3, 7 5 1        | 7, 5 0 2     |     |
| 互換バッテリー12V 日立 EB1214S         | 1  |                 | 4, 4 0 0     |     |
| スーパー技工替刃式片刃鋸竹用210mm           | 1  |                 | 1 7, 5 8 9   |     |
| KB用紙 A4 250枚 KB-239N          | 1  |                 | 5 9 4        |     |
| ゼブラ ハイマッキー 12色 MC12C ほか       | 1  |                 | 5, 9 9 3     |     |
| 交通費                           |    |                 | 4 4, 0 4 0   |     |
| 合 計                           |    |                 | 1 3 7, 1 5 6 |     |